

第4次諫早市地域福祉活動計画

ふくしのまちづくりプラン

令和4年度～令和8年度



社会福祉法人
諫早市社会福祉協議会



はじめに

諫早市社会福祉協議会では、地域が抱える様々な福祉課題に対して、地域の皆さんとともに考え互いに協力して課題解決を図るため、福祉のまちづくりを進めるための指針である「地域福祉活動計画（かんしゃプラン）」を平成19年度から5年毎に策定し、計画の実現に向けて各種事業に取り組んでまいりました。

近年は、虐待やDV、引きこもり、貧困、さらに高齢の親と無職の子どもの同居世帯（いわゆる「8050問題」）や、介護と子育ての時期を同時に迎える世帯（いわゆる「ダブルケア」）、本来大人が担う家事や家族の介護などを日常的に行っている子ども（いわゆる「ヤングケアラー」）の問題など複雑な問題を抱え、多方面からの包括的な支援を必要とする人が増えています。

国はいま、「地域共生社会」の推進を掲げ、国際社会は、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現に努力を傾けています。

本会では、これまでの取り組みを検証するとともに、地域福祉を取り巻く環境の変化に対応する必要から、「一人ひとりの個性を尊重し、地域とともに支え合い、みんなであつくり私たちのまち」を基本理念とした第4次計画を策定しました。

行政、医療、福祉、保健、教育など様々な分野の支えを頂きながら、地域福祉を支える人づくり、地域づくり、困りごとを解決できる仕組みづくりを大きな柱とし、身近な地域で寄り添える体制の整備に取り組んでいく所存でございます。

この計画策定にあたり、意見をいただいた地区（校区）社会福祉協議会をはじめとした関係団体の皆様、アンケート調査にご協力をいただきました市民の皆様、本計画の監修をいただきました鎮西学院大学 中野伸彦先生など多くの方々に、心から感謝を申し上げご挨拶いたします。

令和4年5月

社会福祉法人諫早市社会福祉協議会

会長 寺井 雄一

目 次

第1章 計画の策定にあたって

- (1) 地域福祉活動計画を策定する目的2ページ
- (2) 計画策定の背景と趣旨5ページ
- (3) 計画の期間7ページ
- (4) 計画策定までの歩み7ページ
- (5) 地区社協・地域福祉活動計画(8地区の計画)の取り組み状況12ページ

第2章 基本理念と基本目標

- (1) これまでの取り組みと課題48ページ
- (2) 基本理念51ページ
- (3) 基本目標52ページ
- (4) 施策の一覧表53ページ

第3章 活動計画(地域福祉の推進に向けた取り組み)

- (1) 基本目標1:地域でつながり支え合う人をつくる56ページ
- (2) 基本目標2:共に支え合う地域をつくる62ページ
- (3) 基本目標3:困りごとを解決できる仕組みをつくる68ページ

第4章 計画の推進にあたって

- (1) 計画の推進体制78ページ
- (2) 計画の進捗管理78ページ

【資料編】

(1) 小地域福祉活動一覧

- 各地区(校区)社会福祉協議会の活動地域の概況及び活動状況80ページ
- (2) 統計からみた諫早市の状況103ページ
- (3) 地域福祉に関するアンケート調査結果115ページ